

# 『高皇歌』から見るシエ族の起源と文化

## 【サマリー】

李 静（リ セイ）

神話を背景とするシエ族の史詩『高皇歌』は、シエ族文化の「活化石」とも言われる。本稿は『高皇歌』に記載された内容を基に、シエ族の起源や信仰、発祥地、始祖伝説、祖先祭祀などを考察したものである。シエ族が漢民族の文化に影響されながらも、アイデンティティと民族文化を確実に保っていて、多様な文化を展開してきたことが伺える。近年、中国では『高皇歌』に関する研究が進んでいるが、日本の犬神信仰との比較研究はまだ乏しいように見える。そして、これらの研究を今後の課題にしたい。

## 地域の自然と文化を生かす茶の葉

### —茶都杭州とお茶の世界博覧会

#### 【サマリー】

李 静（リ セイ）

中国では毎年いくつかの茶博会が開催されるが、中国八大古都の一つである杭州の茶博会は最も規模が大きく、影響力も強い国際的なものである。周知のように、杭州は「龍井茶」と呼ばれる最高級の緑茶の生産地域でもある。本稿は、龍井茶と西湖の山水や西湖茶の源流、西湖茶文化の民間浸透、杭州の茶館文化を考察しまとめたものである。そして、このような茶博会は、海外からの茶葉生産者と販売者に伝統的な中国を目と舌と鼻で体験させる機会であって、人々に中国茶文化の奥深さをしっかり認識させる窓ともなるのである。